

石川県立自然史資料館の平成24年度管理状況

施設所管課	教育委員会生涯学習課
指定管理者	特定非営利活動法人 石川県自然史センター 理事長 古池 博
指定期間	平成23年4月1日～平成26年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の打合せや全体会議（月1回）で開催イベント等の共通理解をはかり、接遇向上に努めている。 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの実施（のべ141通） ・アンケートの意見を生かし、より見やすい展示、わかりやすいチラシ等の作成に努めている。
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「ふえるひろがる新参者の植物たちー外来種ってなんだろう？」「毛皮展」開催（参加人数4,861人） ・普及講座「コハクをみがいて古代をのぞこう」など22回（参加人数468人） ・自然史講座「薬用植物観察会」「大人のための植物観察会」など3回（参加人数66人） ・イベント「バックヤードツアー」など6回（参加人数107人） ・ミニ展示「エビとカニと日本海」など4回（参加人数4,788人） <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの掲載 ・広報誌への情報提供、報道機関への資料提供 ・学校・公民館等施設訪問によるPR（のべ108箇所） ・ニュースレター（年1回A4二つ折り5,000部） ・企画展のポスターやチラシの作成・配布（ポスター1,000部・チラシ34,000部） ・講座・イベント年間予定表作成・配布（B4/30,000部） <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢湯涌創作の森と連携しイベントを実施（参加人数7人）
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃（再委託）</p> <p>保守点検</p> <p>警備（再委託）</p> <p>小規模修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育普及棟敷地内屋外倉庫の屋根及び軒裏、雨樋の腐食他

（その他知事が必要と認める業務）	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの策定、自衛消防隊を組織し、事故発生時の緊急対応について、訓練を行っている。（年2回） 個人情報の管理状況 <ul style="list-style-type: none"> ・職員への周知徹底が行われている。
------------------	--

（２）施設の利用状況

①利用指標

指標	H 2 3 年度 (参考)	H 2 4 年度	前年度比	増減理由
利用者数（人）	4,182	6,132	146.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・普及講座の開催回数を増加、魅力的な企画展・ミニ展示の開催により利用者が増加した。 ・「日食」の天体イベントを生かした講座を実施した。

②使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

（３）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
該当なし			

（４）収支決算

（千円）

収入		支出	
管理料	41,661	人件費	25,612
自然史センター拠出金	477	光熱水費	6,012
		庁舎管理費	4,533
		展示費等	2,406
		消耗品費	315
		借上料	984
		修繕費	340
		その他	1,936
合計	42,138	合計	42,138
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果（平成24年度通年実施 有効回答数141件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	78.6%	18.3%	3.1%	0.0%
施設の維持管理	81.7%	15.3%	2.3%	0.7%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成24年4月	とても良い施設なのに利用されている人が少ないようで残念な感じですか。	・学校・公民館施設へ直接出向き丁寧にPRする。 ・ポスター・チラシの作成部数を増やす。
平成25年2月	「毛皮展」は手に触れることができ、楽しめました。できれば、それぞれの生態の様子が見られる写真や映像の上映があると子どもでもわかりやすいのでは？	展示において、子どもにもわかりやすく楽しめる工夫をする事に努める。

②事故、故障等

年月	内容	対応
平成24年4月	側溝のグレーチングの損壊	強度の高いグレーチングに取替
平成24年4月	屋外倉庫の屋根及び軒裏、雨樋の腐食	塗装工事を施す
平成24年4月	植物収蔵室の加湿器が故障	取替
平成24年8月	ばっきブロワーVベルト（屋外浄化槽）の摩耗による劣化	Vベルト取替
平成24年12月	公用車パワーウインド故障	パワーウインドマスタースイッチ取替
平成24年1月	物理たいけん教室エアコン故障	圧力センサーの交換
平成24年3月	正面玄関自動ドアの不具合	センサーの交換

③その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	C	<ul style="list-style-type: none">・各種講座や企画展について、ホームページへの掲載や近隣施設・学校への訪問等で広報活動を行っている。・普及講座の新プログラムの実施、企画展の内容や実施期間に工夫の余地があると思われる。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none">・施設内は常に清潔に保たれているほか、修繕等については、利用者の安全や利便性を考え迅速に対応するなど適切に管理が行われている。・自然史資料の整理が迅速に行われていない面が見られる。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none">・非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。・個人情報については職員に周知徹底が図られており、適切な情報管理が行われている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none">・おおむね施設の設置目的にあった管理運営がなされており、今後も適正な管理とさらなる利用促進に向けた取組を期待する。

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

--